

第5回 府中市男女共同参画推進協議会 議事録

- 日 時 平成30年10月26日（金）午前10時から11時45分まで
- 会 場 府中市役所北庁舎3階会議室
- 出席者 （委員）
諸橋会長、内海委員、糸井委員、今喜寿委員、杉本委員、徳原委員、内藤委員、長屋委員、谷田部委員
（事務局）
田代地域コミュニティ課長、三浦地域コミュニティ課長補佐、肥後男女共同参画推進係長、高畑主任
（文化科学研究所）
瀬戸、小谷
- 欠席者 堀井委員、松本委員、向井委員
- 傍聴者 なし
- 議 事 報告事項
- 1 第6次府中市男女共同参画計画について
- 審議事項
- 1 府中市男女共同参画計画推進状況評価報告・第三者評価について
- その他
- 資 料
- 1 府中市男女共同参画に関する意識調査—結果速報—
 - 2 府中市男女共同参画に関する意識調査結果概要（速報）
 - 3 府中市男女共同参画計画推進状況評価重点項目各委員評価

開会

【会長】

定刻になりましたので、第5回府中市男女共同参画推進協議会を開会いたします。まず、事務局から本日の委員の出席状況等について、報告をお願いします。

【事務局】

本日の出席状況でございますが、堀井委員、向井委員、松本委員の3名の委員から欠席のご連絡をいただいております。現在、定数12名中9名の委員にご出席をいただいております、出席者が過半数を超えておりますので、本協議会は有効に成立していることをご報告いたします。

なお、本日の傍聴希望者はございません。

次に資料の確認をさせていただきます。

(配布資料1から3の確認)

以上でございます。会長、よろしくお願いいたします。

【会長】

前回8月27日に実施した第4回協議会の議事録につきましては、事前にご確認いただいておりますが、改めて修正等でお気づきになることはございますか。

それでは、議事録は了承とし、事務局は公開の手続きをお願いいたします。

次に、次第1の報告事項(1)第6次府中市男女共同参画計画について事務局から、説明をお願いいたします。

【事務局】

(資料1の調査概要及び調査票の見方を説明)

詳細につきまして、第6次府中市男女共同参画計画策定準備支援業務委託業者の株式会社文化科学研究所より説明いたします。

【文化科学研究所】

(資料1について説明)

今回男女別の結果だけとなっておりますが、この後、男女別に加えて年齢別というのも集計を行っておりますので、次回はその結果もご覧いただけたと思います。

【会長】

ご説明ありがとうございました。市民意識調査の速報値について、説明がございましたが、何かご意見やご質問はございますか。

年齢で40代が一番多くなっていますが、実際の府中市の人口分布と比較するとどうでしょうか。

【文化科学研究所】

通常の調査ですと50代60代が回答してくださりますが、その世代に回答しづらい内容だったかもしれません。通常ですと30代40代は回答率が低いのですが、男女の役割分担や子育ての問題等について、普段忙しい方がわざわざ答えてくださったということが言えると思います。

【会長】

DVに関しては、思ったより相談しておらず、自己解決や我慢している人が多いですね。男性は、自分がDV受けていても相談しづらいというのが反映されているのかもしれない。

【委員】

協議会委員で答えた方はいらっしゃいますか。

【会長】

今回はいませんね。それでは引き続き、事務局に検証していただきましょう。

皆様にはこちらをお持ち帰りいただき、様々な角度からご意見いただければと思います。

次に、次第2の（1）府中市男女共同参画計画推進状況評価報告・第三者評価について事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料3の1ページ「2 すべての審議会等に女性委員の登用」から5ページ「5.4 放課後子ども教室の実施」までは先日資料をお送りいたしましたので、ご確認いただいていると思います。お気づきの点がございましたら、ご意見をいただきますようお願いいたします。

（資料3の事業項目番号6.4の相談体制の充実の説明）

なお、先日委員の皆様からいただきました質問の回答を口頭で申し上げます。質問事項「相談カードの女性トイレの配架は効果があるのか。相談に来た人たちは何を見て相談窓口を知ったのか等のアンケートを取っているか。」についての回答は「相談時に、何で相談窓口を知ったかの聞き取りを行っています」となっております。次に「市民への効果的な周知ができたか。」という質問には「相談件数も概ね増加傾向にあり、周知はできています。一方で、そもそも女性センターの認知率が低いという課題があります。」という回答です。「デートDVの啓蒙活動について、若い女性に見てもらうためにはどこで啓蒙活動をすればいいのか、という議論はなされたのか」という質問についての回答は「協議会から意見を頂戴し、平成29年度は、中学校2校、高等学校、大学へのデートDV意識啓発講座を実施いたしました。」とのことです。是非、改善策の提案にご参考にしていただければと思います。

以上でございます。

【会長】

ありがとうございます。「相談体制の充実」に対して皆様の評価は平均3.6なので、Bでよろしいですか。判定理由について、いかがでしょうか。こちらでもセンターの認知率のことを書きますか。「学校での意識啓発の強化」を強調した方が良いかもしれません。あと「センターの認知率を上げるように努めてください」も追記しましょう。そして評価はBとします。

次に、事業項目番号7.9②の職員・教職員のための相談窓口の充実について事務局からお願いします。

【事務局】

(事業項目番号 79②の説明)

指導室には質問を3件いただいております。質問1「本件に関する職員課と指導室の役割分担はどうなっているのか。相互に連携してこの問題に対処しているのか。」に対する回答は「市役所の事務職は市職員、市内学校の教員は都職員という違いがあり、根本が異なります。そのため、連携等を行われていません。」ということです。質問2「28年度の今後の課題について『相談員のスキルアップ』と記載しているが、29年度は何か働きかけたか。」への回答ですが「職員の入れ替えがなかったため、スキルアップ等の研修は行っていません。」となっております。質問3「相談件数0件とのことだが、周知がなされていない、相談しにくいという環境がある等の課題や議論はあるか。」についてですが「相談員は男女おり、電話・窓口で受付けています。30年度については、周知のプリントを作成し、配付いたしました。セクハラについての問合せは今までもありませんでした。パワハラについては数年前に問合せがありました。」という回答でした。今回の提言に反映していただきますようお願いいたします。

以上でございます。

【委員】

指導室は「評価の内容」が「取組と実績による」と書いてあって、前も言ったと思うのですが、勘違いしている感じがします。自己評価がどうなのかを書かなくてはいけないと思うのですが。都の教員、市の職員と指揮命令系統が違うかもしれませんが、府中市の中で教員をやっているということでは、男女共同参画の施策を行っていただかないといけないと思います。都の職員だから市の施策に従わないということはないと思うので、研修対象から外す等はしないでいただきたいですね。

【事務局】

研修について、教育委員会等を含めて市職員を対象に行っています。教員については都の職員のため、東京都で研修が行われています。その中で、市と都の連携はされていいということだと思います。府中市と東京都それぞれに男女共同参画に関する計画がありますので、教員については東京都が適切に対応されているのではないかと推察されます。

また、先日、資料を送付いたしました時に、各課の回答も送らせていただいておりますが、その中で、前回の事業項目番号32の「発達段階に応じた性教育等の実施」に関して、指導室の役割を確認しましたので説明させていただきます。指導室の役割といたしましては、「各学校が学習指導要領等に沿った教育がされているかを確認するところである。また、その進行管理を行うものである。毎年度末に、各学校から翌年度の教育課程（いわゆる年間計画、授業や運動会等）を指導室へ提出する。指導室は、教育課程につい

て、学習指導要領や府中市第二次学校教育プラン（7つの柱）に従っているかという視点で確認。その際、逸脱等していれば、指導を行う。また、授業の実施後、各学校は、学期ごとに報告書を提出。指導室は、教育課程どおりに授業が実施されたかを確認する。」となっております。

【会長】

進行管理や確認はしている、逸脱があれば指導しているということですね。評価はCでいいと思うのですが、いかがでしょうか。

Cにしたいと思います。判定理由及び改善策提言はいかがでしょうか。

【事務局】

参考ですが、こちらの施策がセクシュアルハラスメント限定になっておりますので、「次期計画ではいろいろなハラスメントに施策名称を変える」という風にしていただいた方が良いのではというご意見もいただいております。

【会長】

ハラスメント全体に広げてしまうと、セクシュアルハラスメントが薄れてくることになってはいけないと思います。下線部の「事例がなかったからなのか、相談しにくい環境だったのか分からない」というのをそのまま使いたいですね。「この評価としました」の次に「相談件数ゼロとういのは、事例がなかったからなのか、相談しやすい環境を常時整えているのかが分からない」と入れておきましょう。過去のデータはパワハラ相談が1件あったということですね。セクハラはずっとゼロなのですね。

次の事業項目番号81健康診査事業の充実について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

（事業項目番号81の説明）

なお、健康推進課への質問は3件で、1件目「若者は高齢者より受診が少ないのか、年齢層別の受診率の統計はあるか」への回答は「年齢層別受診率統計に基づくと、検診によって異なるが概ね高齢者の方が、受診率は高い」とのことでした。2番目「肺がん検診等、受診率が大きく増えた検診について、増えた理由はあるのか」の回答として「国・都からの指導により、対象者を正しく指針通りに実施することとなったため、対象者の範囲を広げた結果、例えば、今までは40歳、42歳、46歳とか年齢で組まれていたものを40歳以上と対象者を広げた、というようなことで対象者が増加いたしました。当初の定員では受入れきれず、予算を運用して受入れ枠を広げたため、大幅に受診率が上がりました。」とのことでした。3番目の質問「充足率100%を目指してどのような取組をしたのか。」への回答は「特定の年齢への個別勧奨通

知に加えて、平成28年度から全戸配布する健康応援ガイドに受診申込書を同封して申込み環境を整備しています。また、複数がんを同日に受けられる枠組みを広げて受診しやすい環境を整えています。」ということでした。こちらの回答も今回の提言に反映していただきますようお願いいたします。

以上でございます。

【会長】

ありがとうございました。予算も広げてよくやっているとありますが、評価の平均は3.5で、四捨五入するとBです。評価Bでよいですか。

では、評価はBにして、判定理由もこの文言でよいと思います。

次に事業項目番号89③女性自身に関する相談について、事務局よりご説明をお願いします。

【事務局】

(事業項目番号89③女性自身に関する相談について説明)

なお、子育て支援課に対する質問は4件でございました。最初の質問ですが、「昨年度から相談件数の増加が懸念されているが、それについて、どのように対応したのか、今後どのような手を打っていくのか。また相談体制維持のために何か取り組みはしているか。」ということですが、回答は「専門の相談員を1名増員いたしました。様々な相談に応じる相談員が長く健康に働けるよう、コミュニケーションを絶やさない職場作りを実施しています。」となっております。2件目は「相談件数が増えた原因について、考えられることは何か。(周知活動の成果等)」で、回答は「モラルハラスメントやDVなど社会的な事件が増加しているため。」ということです。3件目「相談件数の数値はこれまでの延べ件数か、29年度の実績か。」につきましては「29年度の実績」です。4件目「相談内容が複雑、多様化している中で、適切な助言、支援ができるようどのようなアクションをとったのか。関連機関とも具体的にどのような連携をとっていくのか。」についての回答は「東京都女性相談センター、東京ウイメンズプラザにて定期的に研修が行われており、積極的に参加しております。庁内で行われている相談部門の会議等へ参加し、顔の見える関係づくりをし、それぞれの関係機関の機能について共有しています。相談者が必要としている窓口へ適切につながるように初回は同行・同席するなどの対応を実施しております。」以上の4件でございます。今回の提言に反映していただきますようお願いいたします。

以上でございます。

【会長】

ありがとうございます。質問に対する回答ですと、相談員を増やしたりセンターやウイ

メンズに行って研修を受けたり、積極的に対処を整えていただいているようですが、平均すると3.1でCということになります。進捗状況がよくわからないということがあります。相談件数は3,000件と増えていますね。よく対応しています。

【事務局】

これは、子育て支援課が受けている相談件数です。

【会長】

多いですね。女性センターを含めていないのですね。対応する相談員は大変ですね。相談員を1名増やしたことを評価するか、でも1名増やしたことを書いていないですね。

【事務局】

皆様に評価していただくに当たって、主管課にヒアリングして分かったところも踏まえて評価してください。

【会長】

評価はこのままCとして、書いてなかったということもあるので、「相談員も増えたようですがその記述もほしかったです」と入れていただきましょうか。

最後の事業項目番号96スクエア21・女性センターの運営について、事務局からお願いします。

【事務局】

(事業項目番号96スクエア21・女性センターの運営について説明)

なお、女性センターに対するこちらの項目への質問は2件いただきました。質問1は「28年度の講座数はいくつか、来館者数の減少はなぜか」です。申し訳ありませんが、配布資料（平成30年度府中市男女共同参画計画重点項目一覧（評価表））に誤りがあり、過去の推移の平成28年度のところで「全 回 人」とあるところは削除してください。質問への回答ですが「28年度は、講座数93講座、受講者数2,780人。29年度は、98講座、4,001人。来館者数の減少は29年7月に今まで女性センターにございました消費生活相談がプラッツに移転したことに伴うものと考えています」。質問2ですが「男女共同参画の推進にかかわる情報誌の発行が実施されたのか。」ということですが、情報誌「スクエア21」を年3回発行したところでございます。

以上でございます。

【会長】

ありがとうございます。評価は3.2ということでCとなりますが。現状維持ということですね。判定理由には「センターの認知率が低いので」ということは入れておきましょうか。センター名称が変わるのがチャンスですね。「センター名称を」とありますが、「センター名称が」としていただき、変更することは決定なので「変更されますので」として

いただきましょうか。今まで認知率が低かったセンターの周知活動を積極的に行い、稼働率の増加に努めてください、というところですね。他にセンターについて何かございますか。

【委員】

センターの役割と市民の男女共同参画等への意識と関係していると思います。調査の7ページ問5でも全体的に府中市は厳しい結果だと思いますが、東京都や国と比較しても低い意識が、センターの利用と少なからず関連していると思います。

【委員】

調査結果で、男女共同参画社会という言葉を半数しか知らないというのは、国と比較しても低く、関心が薄いと思わざるを得ないと思います。

【会長】

その辺のデータとも絡めながら、「男女共同参画などへの認識、意識の低さが、センターの認知、利用の低さと関わっているとみられる」という分析を入れていただきましょう。

以上で終わりです。

次第3のその他について事務局からお願いいたします。

【事務局】

来年度女性センターから男女共同参画センターに名称を変更することになり、ネーミングライツを7月1日から9月7日まで募集を行いました。募集の結果、1社から応募がありましたが、審査会の結果、不採用となりました。

愛称は公募することとなり、現在募集中です。締め切りは11月20日までとなっています。

【会長】

ありがとうございました。ぜひ皆様の中からもわかりやすい愛称を応募していただきたいと思います。

他に何かありましたらお願いします。

【事務局】

次回開催は、11月28日（金）午前10時から、会場は市役所3階第4会議室でございます。

次に1月の下旬の日程を決めていただければと思います。1月の会議がこの2年間の任期の最後の会議日程となりますので、よろしくをお願いいたします。

【会長】

1月28日（月）の夕方あたりはいかがでしょうか。16時から1時間半くらいになると思います。

それでは1月28日（月）16時からということで決めさせていただきます。

【委員】

市民調査の結果ですが、7ページ問6で、府中の「わからない」の割合が高いのですが、国や東京都の「わからない」の割合がどのくらいあるかわかりますか。他の統計や国際比較でも、日本は「わからない」が多いですね。アメリカやフランス、イギリスは「わからない」なんて人はあまりいません。

【事務局】

問6の「わからない」は国や都でも設けていますが、手元に資料がないので確認します。

【会長】

それでは、第4回男女共同参画推進協議会を閉会とします。

次回は11月28日（金）午前10時からです。

本日はご出席ありがとうございました。